フェニキア・カルタゴ研究会　第９回公開報告会

The Society for Phoenician and Punic Studies in Japan

お蔭様で公開報告会も今年で９回目を迎える運びとなりました。前半の第一部は卒業論文発表会として、フェニキア・カルタゴ史の分野で卒論を書かれたフレッシュな３人の大学４年生に、その成果をご発表いただきます。後半の第二部では2023年度の科研の成果報告会として、それぞれレバノンでの発掘調査およびチュニジアでの海外調査の成果を速報という形でお話しいただきます。さらにその後に全体討論の時間を設け、登壇者とフロアやオンラインの皆様との意見交換の場を計画いたしました。是非、多くの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げております。

プログラム

13：30 開会の辞

第一部　卒業論文発表会

13：35 「前６世紀におけるカルタゴの拡大」　藤川 拓己（東洋大学）

14：00 「カルタゴ「帝国」再考ー前６世紀におけるモテュアとカルタゴの関係」　池田 鈴菜（早稲田大学）

14：25 「古代地中海世界におけるカルタゴの交易活動ー魚醤と条約に目を向けて」　宮永 陽海（上智大学）

14：50 質問・コメント

15：00 休憩（10分）

第二部　科研費成果報告会

15：10 「2枚のコインとアンフォラ・スタンプ
ーティール・アルバスサイト内大型墓からの出土遺物（2023）ー」　前野 弘志（広島大学）

15：45 「北アフリカのローマ時代の郊外邸宅（villa）：その図像と遺構
ーシディ・グリブ（チュニジア）を中心にー　」　瀧本 みわ（武蔵大学）

16：20 全体討論

司会・コメント・サポート　青木真兵・中村えりな・日野貴裕・丸小野壮太・佐藤育子

日時：2024年３月３日（日）13:30～16:50終了予定
場所：対面・オンライン併用のハイブリッド開催
対面会場：日本女子大学目白キャンパス 百年館５階506教室

最寄り駅　JR目白駅 / 副都心線 雑司ヶ谷駅 / 有楽町線 護国寺駅
当日、正門受付に構内案内図をおきます

アルバスサイトの発掘現場

シディ・グリブ出土の舗床モザイク　５世紀前半　バルド美術館蔵

参加をご希望の方は、３月２日（土）正午までに下記のフォームからお申込み下さい。
当日のリンク先など参加方法をお知らせします。
https://forms.gle/Gnrsby9ZP5eFTLtg9

主催　フェニキア・カルタゴ研究会
共催　古代ローマ期北アフリカの農業に関する学際的研究 21H00584（研究代表者 滋賀大学 大清水 裕）
レバノン南部の都市ティールにおけるアルバスサイトの発掘調査 23H00685（研究代表者 広島大学 前野 弘志）